

# 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(116) 議事録

日 時	平成 29 年 6 月 2 0 日 (火) 18:30~21:45
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、庄司則雄、千葉洋子、阿部好二 (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	仙台高専 8 名 (坂口先生、学生 3 名) 職員 副市長 復興区画整理課 4 名、生活支援課 1 名、政策企画課 2 名、 クリーン対策課 2 名 傍聴 1 名、環境省 2 名、仙台放送 3 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有について 2. 情報受発信について 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 115 回世話役会議事録案 資料-1 第 29 号ニュースレター、パンフレット案 資料-2 みちのく潮風トレイル資料、復興マラソン関連資料

## ○ 協議要旨

### 0. 事前確認について

#### <議事録確認>

- ・第 115 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

#### <市の情報提供>

- ・生活サポート施設等の整備スケジュールの更新版が提示され、今回のニュースレターと一緒に配布することとなった。
- ・7 月のお茶会が公民館とポケットパーク予定地であるという話があった。

#### <世話役の情報提供>

- ・美田園北の夏祭りの日程や小中一貫校の説明会の日程の話があった。
- ・鍵引渡し式については、できればまち協の入会案内の説明時間を確保したいとの要請を名取市にした。

### 1. 情報共有について

- ・潮風トレイル、トレイルセンターについて環境省から説明があった。
- ・復興マラソンについて、テレビ局からボランティアの募集のお願いがあった。

### 2. 情報受発信について

- ・弁護士会の視察対応は 3 名の世話役で行うこととなった。
- ・ニュースレターは、指摘された内容を事務局で再整理することとなった。
- ・パンフレットは、より一目でまち協が何をして、どうしたいかをわかるようにもう少し工夫検討して発行することとなった。

### 3. その他

- ・災害公営住宅の屋外階段の仕様について市に説明をお願いした。
- ・ミズベリング閉上の参加依頼があった。

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は7月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(117)7/4(火)18:30～ 名取市復興区画整理課会議室

**以下、世話役会の主な意見について記載する。**

### 0. 事前確認

#### 資料-0 第115回世話役会議事録案

##### 議事録の確認

- ・第115回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

#### <名取市からの情報提供>

→スケジュールの追加説明（市）

- ・資料の文字の大きさなどは配布までに統一するべき。

→トレイルセンターのスケジュールは、本日説明があったので修正をする。（市）

- ・スポーツエリアの区域についての整備方針はどうなっているのか？

→計画内容は内部で検討中である。（市）

- ・計画検討の中身はどうなっている？

→要望などを聞いているが、どういうものができるか検討中である。（市）

- ・検討段階の中身も話して欲しいし、その検討の中に意見を反映することができないか？
- ・提案のなかで議論して整理すべきなのか？

・住民ニーズを把握して作るというのならいいのだが、何もなければ作っても仕方がないので、方向性を示すべきかなと思う。

→オフィシャルな提案を出すべきだとは思う。（事務局）

- ・条件が決まっていななかで、検討スケジュールを提示してもらうべきか。

→予算次第のところはある。次回までに確認して報告する。（市）

・グラウンド不足による不自由がないように、震災前と同じように使える施設が存在しているように公園緑地部会でも意見はまとまっている。

- ・公園緑地の番号と対照できる地図が欲しい。
- ・第29号のニューズレターと一緒におくかどうか？
- ・同封するという方向とする。

#### <生活支援課>

→7月号の復興だよりも案内しているが、高柳公民館で7月19日、閉上の西第一団地では7月20日にポケットパーク予定地にテントを張ってお茶会を開催する予定である。（市）

### <世話役からの情報提供>

- ・8月12日の土曜日に美田園北で夏祭りを開催する予定。
- ・小中一貫校の説明会については、6月20日としているが26日なので修正する。

### <鍵引渡し式>

- ・7月15日の鍵引き渡し式では、閑上太鼓と子供神輿の実演をやる予定。
- 自治会の設立は、公民館や町内会長へも個別にお伺いして、協力者のめぼしをつけて、直接検討していく予定である。(市)
- ・自治会などは、設立の意味合いが重要、意図を伝えたい。行政がやってくれればいいが。できれば、まち協入会案内などから、それらを伝えたい。
- 高柳、大曲地区は、すでに班編成もできて、既存の町内会に含まれることも決まっている。7月から個別に加入案内をし、集会所開きに合わせて、県の補助の申請などにも既に動いている。(市)
- 閑上の場合は、設立準備会で人が集まらなくなったので、現段階では方法がない。(市)
- ・今後の自治会設立に向けた動きはどうか？
  - ・自治会が設立できるなら行政に任せるということでもいいのでは？任せられる人を一本釣りすることが重要。候補者がわかれば、それに協力することはできるという話をした。
  - ・名簿が無いなかではうごけない。
  - ・移られる人の自主性をどうするか、自治会設立の必要性の説明をすることは重要。
- まち協から話をしてもらおうこともいいきっかけなので、庁内で調整する。(市)

### <復興区画整理課>

- ・6月24日に閑上東地区の起工式がある。

## 1. 情報共有について

### <潮風トレイル及びトレイルセンター>

- 潮風トレイル及びトレイルセンターについて、潮風トレイルの総延長は1,000kmで、現在半分が開通し、気仙沼も7月には開通予定である。名取市や山元町などは、ルートが決定し、年度中には位置づけることができる予定。全線開通は来年度を予定している。(環境省)
- トレイルセンターは、朝市の南側に位置し、広報、情報拠点の発信施設であり、建物は1,000㎡、大型バスの寄り付きもあり、空間的には庭が多い。建物には展示施設もあり、ハイカーがトレイルの問い合わせができるツアーデスクを設置し、情報提供でき、かつ、観光の窓口にもなる。軽食も提供し、ハイカーズラウンジとして活用、海外トレイルの図書の閲覧や歩く人向けの情報を提供する。レクチャールームではスライドなどの上映もできる。工作室もあり、地域の住民、子供たちなどへの、魚さばき体験や農作物の加工体験なども予定している。(環境省)
- 運営は協議会が担うので、現在市と協議中、施設の維持管理なども含めて検討中である。ハイカーと地域の人との交流を目指し、観光だけでなく、地域交流の拠点機能という役割も考えている。ハイカー用のシャワーもある。市との協議は運営に協力という意味でなく、施設の活性化、地域での利用も考えているので一緒に考えていきたいと考えている。世界的な拠点として、仙台空港が近いので、欧米人をターゲットとし、長期滞在などを踏まえた展開をしたいので、情報発信も工夫していくことを考えている。(環境省)
- ・世界的なトレイルセンターでの交流人口増加の実績は？

→アメリカでは拠点施設の利用者数のデータは所有しているが、スペインなどではコースによって人気があると、町の産業構造が変わる例もある。(環境省)

・東北の海岸線が特徴だが、目玉の施設が必要か？

→トレイル全体として、海岸沿いのロングトレイルが世界的にはなく、また、市街地や人との距離が近い。また、区間の歩きやすさ、公共交通機関の存在も、全世界的にも特徴がある。気軽さ、観光ルートとして可能性が大きい。地域ごとに個性を示しつつ、人を集められればと思う。(環境省)

・閑上を作る施設がセンター施設なのか？

→潮風トレイルのルートは、国立公園内が多いので、大きなものは作れないが、金華山にビジターセンターがある。名取閑上の施設が本部となり、ビジターセンターとの連携を図ることとなる。(環境省)

・言葉の壁が気になる。通訳的な部分も支援してもらえればいいと思う。

→施設の運営職員はNPOなどで対応していきたいので、外国語の堪能な職員の配置のできる団体等をお願いすることになるだろう。資料も英語バージョンの準備も考えている。インバウンドの観光客なども気軽に利用できるようにしていきたい。(環境省)

・広浦湾などの活用策はあるのか？

→基本的に運営団体が考えるのだが、トレイルセンターに倉庫を設置予定で、シーカヤックなどもおきたい。サイクルスポーツセンターもできてくるので、連携などのアイデアが重要で、フットワーク軽く、運営していきたい。(環境省)

・いいアイデアを出す団体を選定するということか？

→自然体験などのアクティビティの企画なども豊富に提案する主体をお願いしたいと思う。(環境省)

・公園で寝泊りは可能か？

→構想では夜間でも利用を想定しており、トイレ、シャワーなどの利用も想定、宿泊も考慮し、災害時の対応も考えながら、現実的な運用部分を検討中である。(環境省)

・建物の計画内容、スケジュールは？

→敷地 2ha、建物 1,000 m<sup>2</sup>で設計検討中である。9月までに実施設計をまとめる。工事入札を10月とし、その後工事1年で整備し、すべて完了するのは30年度末まで、建築、駐車場のみでもオープンできるようにしていきたい。(環境省)

・パースは最終的な形か？

→イメージで作っている。現段階の議論としてキャンプ地の計画はある。今後の設計の中で使い方も含めて精査していく。(環境省)

・北側に震災メモリアル公園があるが、デザインが似ている。名取市と話し合いをしているのか？

→デザインより、機能の話しについて、これから市と協議していく。施設が多くあるので、機能を活かし、差別化して、機能を見つけていく。(環境省)

・トレイルそのものの管理は？

→管理者が既にある空間が前提であり、既存の公道や国立公園内などが基本的にはルート設定されているが、個人の土地を使っているとか、道を新たに整備する場合もある。その場合は、環境省が管理、整備後、地元の行政団体と連絡会議で管理運営について議論していくことになる。(環境省)

・名取市と概ね合意が取れたからできるということですね？

→トレイルルートの一部として位置づけることを名取市が合意したということである。(環境省)

・環境省として、トレイルの運用は何年ぐらいをイメージしているのか？

→歩く文化として定着させることなので、100年、200年、地域に根ざしていくべき。(環境省)

・世界的なアピールについて、環境省はやっているというが、つづけるということか？広報が大事だ。

・まち協としては、交流人口が増加することであればいいことである。具体的な検討会での協議については協力していく。来訪者の確実の増加について、拠点施設がここにあることはうれしいことなので、今後ともよろしく願います。

## <復興マラソン>

・仙台放送に決まってきたことを説明してもらった。

→国際陸連、日本陸連、公認コースと認定してもらった。6月19日付け認定である。(仙台放送)

→エイドステーション、コースの舗装などについても行政と協議しつつ、進めてきた。現在エントリーしている人は、47都道府県から申し込みがあり、40%が宮城県、仙台国際ハーフマラソンの65%より、広い地域から参加申し込みがある。(仙台放送)

→閑上地区では190mのエイドステーションを設置予定であり、地区ゆかりの食べものや飲み物を提供するなどについて、協力をお願いしたい。必要人数は170名で、場所は朝市の西側の道路、テントやトイレも用意予定でステージも用意する。食べ物については、物産協会とも調整中で、ボランティアの要請は小中学校等へも協力願っているが、より多くの団体を窓口にしてご協力をお願いできればと思う。(仙台放送)

・名取市で仮設から交通手段をだすとかできないのか？

・協議会は会員登録制であり、入っている方に案内はできる。会員以外は無理。名取市に協力してもらって欲しい。

→基本的には、まち協の会員への協力要請がお願いである。市内公民館、学校、各種団体の関係機関には市から要請はしている。来る人の場所などもわかれば、輸送手段などもテレビ会社と相談して対策していきたい。市で情報を集約しながら調整していきたい。(市)

・閑上にくる著名人を明確にすると、人も来る。

→まだ、決まっていない。閑上のポイントにこれる人がいるかどうか、出したほうがいいかもしれない。(仙台放送)

・人の集まり具合は違うはず。

→走るランナーはいえるが、閑上に来る有名人については、決められれば番組に聞いてみる。連絡する。(仙台放送)

・まち協の応援として、テーピングステーションを用意しようと考えたこともある。

→いろんな処から、その要請があり、場所的には重要。だから、できるとは思うので、そういうことも検討していく。

・人集めが目的だろうが、役割分担を明確にして、小塚原も含めると400名ぐらいになるので、世話役はそれぞれ団体の役割を担っているの、それらを集めるなどシステムを考えるべきだろう。市が集めた人との重複なども生じるかもしれないので、実行する際のシステムを作るべき。

→市の政策企画課と調整していく。協議会への情報提供もしながら調整していく。(市)

→集約化は市から声がけするが、まち協が集めた分は復興まちづくり課に報告し、そこから放送局へあげる予定。一般募集は仙台放送で直接でよい。それ以外は、復興まちづくり課に連絡すればよい。(市)

・10月1日はいろいろイベントが多く、市民からも相談が多い。公民館でも仙台放送から案内を

してもらおう予定。

→名取市では1000名以上のボランティアが必要なので、ぜひとも協力をお願いします。(仙台放送)

- ・まち協でできることはやり、各世話役は個々に連絡とって進めることとする。

## 2. 情報受発信について

### <名簿登録等>

特になし

### <弁護士の視察対応>

- ・視察の理由や活用について、確認すること。
- ・個別の意見交換会に世話役三人が対応する。
- ・7月2日の13:30からとする。

### <ニュースレター>

- ・各ニュースに日付を入れる。
- ・仙台高専のヒヤリング調査については、調査の感想を入れたら？

→了解した。(仙台高専)

- ・西団地という表現は、西第一団地とする。
- ・下部の文字の色は黒くする。日付は**29**日に修正する。
- ・今後、ニュースレターの作成方針を明確にする必要がある。
- ・世話役の一言を載せるとか？
- ・**report**という表現は報告とする。
- ・今回ニュースレターを送る際には、スケジュールに地図入れたものをおくる。

→まち協でマラソンの案内はするか？(事務局)

- ・申込書は同封せずに、マラソンボランティアの募集があることをニュースレターに載せる程度でいいのではないか？
- ・マラソンのチラシも入れて、募集しているとの内容を記載すればよい。

### <パンフレット>

- ・防災減災のところの表現は修正する。
- ・年号は西暦で統一する。
- ・計画年表の表現は、いままでのまちづくり提案で示したもののほうがいいのでは？
- ・初めてみる人がビジョン、取り組み、スケジュールなど、人目で理解できるようにしたい。
- ・代表が一回作って見たら？
- ・ビジョンのところは動かしがたいが、世代交代、住み続けられる、公園、子育て、一緒に作る流れなど、言葉がわかりやすく、つながるイメージと分かりやすさがほしい。
- ・内容的にはいいが、表紙は気になる。

→表紙に、代表の提案している文言を入れるとかは？(事務局)

- ・いままで作成した文言などを活用してもらったほうがよい。
- ・いつまでに発行するか？
- ・鍵引渡し式までということもあったが、助成金を使うので、発行日を優先するより、より良いものにこだわりたい。

- ・事務局で再検討する。

### 3. その他

・避難サイン計画について検討すると聞いているが、災害公営集合住宅の屋外階段などの仕様を教えて欲しい。

→確認してみる。

- ・7月7日のミズベで乾杯に参加してほしい。申し込みが必要。

以上

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は7月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(117)7/4(火)18:30～ 名取市復興区画整理課会議室 以上